

授業科目名	社会的養護Ⅱ			教員名	宇田川 和久		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係	○保育士資格必修〔社会的養護Ⅱ〕						
授業内容を示すキーワード	社会的養護、家庭養護、施設養護、子供の人權、虐待、里親、権利擁護、個別支援計画						
授業の概要	児童福祉施設を利用している子どもたちの生活の様子や心情を理解するために、援助者として必要な知識や心構えを身につけます。また、児童観や施設養護観などを養うことにより、利用者が安心して生活が送れるように、生活プログラムの作成や事例研究などを通して、望ましい援助の在り方などを学習します。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 児童福祉施設等の利用者に対し、保育士として望ましい支援や援助ができるように、支援者として必要な知識や心構えを習得します。</p> <p>【到達目標】 (1)社会的養護における児童の権利擁護や保育士に求められる資質について理解する。 (2)施設養護等の社会的養護の実際について理解する。 (3)個別支援計画の作成と具体的な支援内容について理解する。 (4)社会的養護に関わるソーシャルワークの方法や技術について理解する。 (5)児童家庭福祉、地域福祉等について理解する。</p>						
授業の方法等	教育実習の3週分を除く、12回の授業を行います。 演習科目であることから、事例に関わるグループ討議や報告発表等を可能な限り行い、学生が主体的に参加する授業を行います。 ICT(EduNavi)を活用した双方向型の授業を行います。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■定期試験〔筆記〕50%</li> <li>■授業への取り組み・態度 20%</li> <li>■提出物 20%</li> <li>■その他〔小テスト〕10%</li> </ul>						
教科書	「新基本保育シリーズ⑩社会的養護Ⅱ」相澤・村井編、中央法規						
参考書	厚生労働省ホームページ						
関連科目	子ども家庭福祉、社会的養護Ⅰ、施設実習Ⅰ・Ⅱ						
質問受付の方法	適宜研究室等で対応します。						
履修上の注意	グループ討議や講義等の記録、配布した印刷物等は、A4ファイルに学習ノートとして整理すること。						

授業計画と時間外学習	子どもの権利擁護
	1 <予習>子どもの権利擁護に関する報道や虐待などの情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	社会的養護における子どもの理解
	2 <予習>児童福祉施設等にかかわる報道や虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	施設養護(乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設)の特性及び実際①
	3 <予習>提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	施設養護(児童心理治療施設、障害児施設など)の特性及び実際②
	4 <予習>提出課題の調査など社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	家庭養護(里親制度、ファミリーホーム事業等)の特性及び実際
	5 <予習>虐待など社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
	社会的養護におけるケアマネジメント
	6 <予習>社会的養護に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分
アセスメントと個別支援計画の作成	
7 <予習>自立支援計画に関する情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分	
事例分析(日常生活支援、心理的支援)	
8 <予習>提出課題の調査 45分 <復習>事例分析の整理 45分	
事例分析(自立支援)と記録の意義	
9 <予習>提出課題の調査 45分 <復習>事例分析の整理 45分	
社会的養護における保育士の専門性	
10 <予習>社会的養護における保育士の役割について情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分	
社会的養護におけるソーシャルワーク	
11 <予習>社会的養護全般の情報を収集する。45分 <復習>レジュメをまとめる。45分	
今後の社会的養護の課題と展望	
12 <予習>提出課題の調査 45分 <復習>レジュメをまとめる。45分	
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆定期試験〔筆記〕60分</li> <li>◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分</li> </ul>